

(様式5)

「オリンピック・パラリンピックレガシー推進事業」

事業実施報告書

<実践テーマ>

- I 静岡ブルーレヴズ・講演会及び交流会
- II 静岡ブルーレヴズ・タグラグビー等実技指導
- III ラグビー部、タグラグビークラブ等活動支援

学校名 磐田市立岩田小学校

担当者名 山本 大介

1 選択コース	<input checked="" type="radio"/> I ・ II ・ III
2 実施日	令和4年9月13日
3 実施対象者 (学年・人数 等)	6年生 26人
4 取組内容	○静岡ブルーレヴズのスタッフの方による講演(仕事に就いたきっかけ、やりがい、努力したこと、苦労したことなど)
5 取組成果 課題 反省等	○普段、触れることのないプロのトップチームの方の話を知ることができて、日頃大切にしていることを知ることができた。 ○チームのために自分の役割を果たすという話を聞き、児童の日常生活の考え方にもつながり、有効だった。キャリア教育としても、将来の夢を考えるよいきっかけとなった。 ○地元のチームである静岡ブルーレヴズについて知る機会になり、地域愛を深めるためにも貴重な時間となった。 ○以前のラグビー観戦や今回のラグビーレガシー教育が一過性のもとならないように、県から配布されているラグビーの本を活用したい。 ○体育の教育課程に導入したタグラグビーは、運動の得意不得意や性別に関係なくプレーの機会があることや礼儀を大切にしているスポーツであるため、タグラグビーを各学級経営に生かしていきたい。
7 県教委への 要望や意見	特になし
8 事後アンケート	以下の問いについて該当するものに○ (1) 児童生徒のスポーツへの興味・関心が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない (2) 児童生徒の体力が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない (3) 来年度もこの事業を活用したいと感じる 大いに感じる ・ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない